



平成24年10月16日

平成24年度 東京消防庁総合震災消防訓練の実施について

東京消防庁では、東日本大震災での課題等を踏まえて、さらなる震災対応力の強化を図るため、管下全消防署において、全消防職員1万8千人及び消防団員2万2千人を動員した大規模な総合震災消防訓練を実施します。

訓練では、国土交通省、東京都（建設局など）、江東区、東京海洋大学、屋形船東京都協同組合、震災時における消防活動業務の協力に関する協定締結団体等との連携訓練も実施します。

1 実施日時

平成24年10月20日（土）6時00分から14時45分まで

2 実施場所

東京消防庁管下全域

3 訓練想定

平成24年10月20日（土）6時00分頃、東京湾北部を震源とする直下地震が発生し、都内の広範囲で震度6強を記録した。

4 訓練内容

- (1) 参集訓練
- (2) 初動措置訓練
- (3) 情報収集訓練
- (4) 通信運用訓練
- (5) 警防本部等運営訓練
- (6) 部隊編成訓練
- (7) 部隊運用訓練

5 取材可能な訓練会場

(1) 場所

砂町水再生センター及び荒川河川敷
江東区新砂三丁目9番1号（別添え1参照）

(2) 参加人員・車両等

- ア 参加人員 約728名（消防職員585名、消防団員80名、他参加機関63名）
イ 参加車両 消防車両等92台、消防舟艇等9隻、ヘリコプター6機
ウ 参加機関 11機関（国土交通省、東京都、江東区、屋形船東京都組合、東京海洋大学、東京DMAT、各災害救助犬団体等）

(3) 訓練内容

訓練を実施する職員には、内容を事前に知らせないブラインド型訓練になります。
詳細は別添えの資料を参照してください。

6 取材にあたっての注意事項

- (1) 取材を希望される場合は、10月19日（金）12時00分までに下記の問合せ先までご連絡ください。
- (2) 取材時は、必ず自社腕章を着用してください。
- (3) 当日、訓練会場にて事前レクチャーを8時30分から行いますので、それまでに受付を済ませてください。（別添え1、2参照）
- (4) 車両でお越しになる場合は、指定の駐車場をご利用ください。（別添え2参照）
- (5) 訓練会場内は足場の悪い場所があります。また、消防車両等が走行しますので、必ず係員の指示に従い、事故防止に十分注意してください。

問合せ先

東京消防庁(代)	03-3212-2111
広報課報道係	内線 2345～2350
城東消防署(代)	03-3637-0119
防火管理係	内線 520～524



訓練会場



【会場への入り方】

ルート①：国道 10 号線を東陽町方面から進み、「清砂大橋西詰」交差点を左折、「南砂 7 丁目」交差点を右折、右側にカーブミラーが出てくるので、手前を右折する。

ルート②：「清砂大橋西詰」交差点を超えて、すぐの側道に入る。



訓練概要図



訓練概要

訓練想定等；東日本大震災を踏まえ、首都直下型地震が発生した際に予想される道路狭隘地における建物の倒壊、駐車車両、浸水等により消防車両が通行不能となり孤立された被災地域が発生したことを想定とした、大規模震災対応訓練を関係機関と連携し実施します。

訓練参加人員；約728名（消防職員585名、城東消防団員80名、他参加機関63名）

訓練参加車両；消防車両等92台、消防舟艇等9隻、ヘリコプター6機

参加関係機関等；国土交通省関東地方整備局荒川下流河川事務所、東京都建設局道路管理部、東京都建設局第一建設事務所、東京都建設局第五建設事務所、江東区、東京都下水道局、屋形船東京都協同組合、東京はしけ運送事業協同組合、スバル興業株式会社東京夢の島マリーナ、東京海洋大学、東京 DMAT（墨東病院）、各災害救助犬団体等

凡例；●可搬ポンプ、●ポンプ車、■遠距離大量送水車、■遠距離ホース延長車

訓 練 概 要

	主 な 訓 練 項 目	場 所	備 考
孤立地区災害対応訓練	<ul style="list-style-type: none"> 消防ヘリ、消防舟艇による人員・資器材の投入、延焼阻止活動及び救出訓練(消防ヘリ2機により約40名の消防隊員を投入) 消防救助機動部隊、消防ヘリ、消防舟艇との連携訓練 	東京都下水道局 砂町水再生センター 孤立現場 1	安全管理上、訓練エリア内での撮影はできません(エリア外からの撮影は可能)
	<ul style="list-style-type: none"> 指揮本部運営訓練 消防救助機動部隊と東京都建設局が連携し、重機等を活用した道路啓開訓練 挫屈・倒壊建物からの救出訓練(ヘリによるホイスト救出など) 緊急消防援助隊受援・連携訓練(神奈川・埼玉県隊、各災害救助犬協会等) 延焼阻止訓練(一斉放水) 	東京都下水道局 砂町水再生センター 孤立現場 2	・泥濘車が訓練エリアで活動します
水難救助訓練	<ul style="list-style-type: none"> 消防ヘリ・消防舟艇が連携した水難救助訓練 	海上エリア	堤防等の決壊や高潮により海上に投げ出された要救助者を救出(2名をホイスト救出)
搬出入訓練 資器材等	<ul style="list-style-type: none"> 消防艇、屋形船、清掃船、台船による人員・資器材等搬出入訓練(屋形船から消防職員が上陸し、主に東日本大震災以降に配置された資器材を搬入する。) 	新砂 リバーステーション	<ul style="list-style-type: none"> 消防艇1隻(資器材) 屋形船3隻(消防職員110名と資器材) 清掃船3隻(資器材) 台船1隻(可搬ポンプ)
送水訓練 遠距離	<ul style="list-style-type: none"> ポンプ車活用 	東京都下水道局 砂町水再生センター	①約2km延長 ②約900m延長
	<ul style="list-style-type: none"> 遠距離大量送水車活用 		約1.5km延長
	<ul style="list-style-type: none"> 東京都建設局・国土交通省排水ポンプ車、可搬ポンプ活用 	荒川河川敷	約1.5km延長

訓練現場図

